



にっしょう
日商だより

☆第75号☆
令和元年5月

■■■この「日商だより」は、私たちと何かのご縁があった方々に、差し上げている通信誌です。■■■

◆コピーセンターです◆

いつもお世話になっております。

新しい元号【令和】になり 初めての日商だよりです。パソコンで「reiwa」と打ってみましたがそのまま「令和」には変換できませんでした。「令」の字を探しその後「和」を打ちました。今まで日常的に使われている語句ではなかったからですね。今後はすぐ出てくるように単語登録をしておきました。これから先何回この【令和】の文字を打つことでしょう。

外国メディアには『Beautiful Harmony=美しい調和』という趣旨だと伝えるよう指示されたそうです。「令」を「order=命令・秩序など」と訳す外国メディアがあったのを受けた措置と書かれていました。

美しい調和ってなんだかいい言葉ですね。

災害の少ない平和な時代になることを願っています。



さて今回はコピーセンターからですので、コピーに纏わることを書きたいと思います。《青焼き》というのをご存知でしょうか？平成産まれの人たちはもう知らないのかもしれませんが。大判コピー機が普及するまでは図面は《青焼き》という物で複写していました。

青焼きとはジアゾ感光紙というアンモニアに反応して青く変化する薬物が全面に塗られた紙の上に第二原図（トレペ・フィルム）を重ね1枚、1枚機械に入れます。そうするとアンモニアガスの中を通り青焼きの出来上がりです。アンモニアですからすごい刺激臭がするので、液を入れ替える時は、窓を開け放し息を止めての作業でした。大切に手書きされたトレペが機械に巻きついてシワシワになった時などは泣きそうでした。

そんな青焼きですが平成28年初めには感光紙の製造も打ち切られアンモニアによる環境への影響もあり日本中からなくなっていました。 つづく→

今ではクリックひとつで大量の図面がコピーできます。

でもまだ建設会社さんなどで古い青焼きの図面や製本がありませんか？劣化してボロボロになる前にもう一度コピーし直すかデータに取り込んでおいてはいかがでしょうか？コピーセンターでは最近そういったお仕事が増えております。一度お電話いただき図面や製本の状態を拝見してからお見積りさせていただきますので、この機会に是非ご検討よろしく申し上げます。

コピーセンター 相尾

◆三重県中小企業家同友会 第37回定時総会◆

4月23日にアスト津で開催された総会に出席しました。「新しい時代を生き抜くキーワードとは？」というテーマで、パネルディスカッションとグループ討論を行いました。

グループディスカッションで、(株)佐野テックの佐野会長とご同席させて頂き、今取り組んでみえる、光冷暖のお話をお聞きしました。光冷暖は、遠赤外線を利用して、特殊セラミック加工した壁や天井と、共振・共鳴させることで、どの部屋もほぼムラなく快適にすごせる空間を作り出します。この快適な空間は、体感してもらわないと伝えることが出来ないのです。チラシでの宣伝は行わず、モデルハウスに来た方の SNS 限定で宣伝を行っています。また、佐野会長から、経営のヒントはすべて同友会で学んできたが、学んだことを会社に帰って、実際やってみる経営者は少なく、いい話を聞いただけで終わってしまっただけではもったいないと話をされていました。私も、会社に戻って実践できる人になっていきたいと思いました。

後藤 渉

【発行者プロフィール】

日商器材株式会社 代表取締役 後藤 渉 (ごとう わたる)

◆生年月日:昭和51年5月6日生まれ ◆出身地:三重県桑名市

◆経歴:精義小学校→陵成中学校→川越高校→中京大学経済学部
→キャノンマーケティングジャパン(株)(旧・キャノン販売(株))→日商器材(株)

◆趣味:カメラ(主に一眼レフで撮る写真ですが動画も好きです。)



後藤 渉

【発行元】

OA機器・複写 情報サービス・測量機

NSK 日商器材株式会社

〒511-0068 三重県桑名市中央町2-26

TEL:0594-21-2600

FAX:0594-21-2685

※お気軽にお問い合わせください!

